

# 「はじめにお読みください」

この度は、本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。  
この冊子には、ユーザーズマニュアルの補足説明が書かれています。  
ユーザーズマニュアルをご覧になる前に、この冊子を必ずご覧くださいますようお願い致します。

1.本製品がウイルススキャンオンラインの方.....	2
I.ご使用までの流れ.....	2
II.よくあるご質問(マニュアル未掲載分).....	4
2.本製品がパーソナルファイアウォールの方.....	16
II.よくあるご質問(マニュアル未掲載分).....	16
3.本製品がプライバシーサービスの方.....	22
I.制限事項の確認.....	22
II.Windows XPをご使用の方へ(インストール方法).....	22
III.よくあるご質問(マニュアル未掲載分).....	25

# 1. 本製品がウイルススキャン オンラインの方



## 2. 製品をインストールします

インストール方法はマニュアルをごらんください。

### 1. ご使用までの流れ

#### 1. 旧バージョンの「VirusScan」を削除します

本製品をインストールされる前に、旧バージョンの「マカフィーウイルススキャン」シリーズ、「鉄壁」シリーズ、パソコンにプレインストールされている「マカフィーウイルススキャン」およびその他のウイルス対策ソフトを削除（アンインストール）していただくよう、お願い致します。

#### 【マカフィー製品の削除（アンインストール）方法】

マカフィー製品以外のウイルス対策ソフトには適用されませんので、ご注意ください。

1. タスクバーの[スタート]から、[設定] [コントロールパネル] [アプリケーションの追加と削除]から、前のバージョンの「ウイルススキャン」または「鉄壁」が削除されている（表示されていない）ことを確認してください。まだ残っている場合は、「削除」をクリックして削除してください。
2. タスクバーの[スタート]から、[検索] [ファイルやフォルダ]を選択します。
3. 「c:\program files¥」と入力して、OKをクリックします。（必要なら「このフォルダの内容を全て表示する」をクリックして全てを表示します）
4. 「NAI」、「Network Associates」、「McAfee」の名前のフォルダを探します。（「McAfee.com」は探す必要はございません）
5. もし上記のフォルダが見つかりましたら、そのフォルダ内の「McAfee VirusScan」および「McAfee VirusScan」というフォルダを探し、フォルダごと削除します。
6. McAfee Office、GuardDog、Oil Changeといった他のMcAfee製品をご利用でないなら、上記のフォルダ名を「NAIOLD」、「Network AssociatesOLD」、「McAfeeOLD」に変更してください。
7. 変更後、必要があれば再起動してください。

#### 【その他のウイルス対策ソフトの削除（アンインストール）方法】

それぞれのウイルス対策ソフトの削除（アンインストール）方法をご確認ください。

## II.よくあるご質問（マニュアル未掲載分）

### 1) McAfee.com ウイルススキャンオンラインのインストールやアンインストールに関するお問い合わせ

#### Q1

インストールしようとすると、アクセス拒否メッセージが表示されたのですが

#### A1

このような場合「ウイルススキャンオンライン」の再インストールをお願いします。

1. 「スタート」 「プログラム」 「McAfee.com」 「McAfee.com VirusScanOnline」 「アンインストール VirusScanOnline」をクリックし、アンインストールを実行します。
2. PC再起動後、「C:\Program Files\mcafee.com\VSO」というフォルダを削除します。
3. 「ウイルススキャンオンライン」の再インストールを実行します。

**この方法でも回避できない場合、インターネットエクスプローラの修復をお願いします。手順は以下のとおりです。**

1. 「スタート」メニューから、[設定] [コントロールパネル]を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Internet Explorer 5.x」を選択して、追加と削除（Windows2000の場合は変更/削除）をクリックします。
4. ダイアログが現れるので「Internet Explorer を修復する」にチェックを入れてOKボタンをクリックします。
5. マシンを再起動します。

**インターネットエクスプローラの修復が完了しましたら以下のとおりにして下さい。**

1. インターネットエクスプローラのセキュリティレベルを変更します。  
「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「インターネットオプション」 「セキュリティ」 「レベルのカスタマイズ」から「カスタム設定のリセット」メニューで「中」を選択し「リセット」ボタンをクリックします。「警告」画面が表示されますので「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。もし、「中」になっている場合は、「リセット」ボタンをクリックし、「警告」画面が表示されたら「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
2. インターネットエクスプローラの詳細設定項目を変更します。  
「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「インターネットオプション」 「詳細設定」 ウィンドウ内の「ブラウズ」から「オンデマンドでのインストールを行う」にチェックを入れ、「スクリプトエラーごとに通知を表示する」のチェックを外し、「スクリプトのデバッグを使用しない」にチェックをつけて下さい。
3. 「全般」から「インターネット一時ファイル」 「ファイルの削除」をクリックします。「ファイルの削除」画面が表示されますので、「すべてのオフラインコンテンツを削除する」

にチェックを入れ「はい」をクリックします。

#### Q2

インストールしようとすると、「HTMLダイアログ...」メッセージの後、何も表示されません

#### A2

このようなエラーが出る場合、以下の原因が考えられます。

ブラウザに起因する現象で、ブラウザ自身が正常に動作するための必要なファイルが壊れていたり、変更されている場合に発生します。そのため、ブラウザをバージョンアップするか、修復する必要があります。（「ウイルススキャンオンライン」に起因するものではありません）

Internet Explorer(以下IE) のバージョンが5.0未満の場合

この場合はIEのバージョンを下記URLよりバージョンアップしてください。

なお、バージョンアップ時にIE3.x からIE5.x へアップデートする場合は、直接（IE3.x IE5.x）という形でなく、必ずIE4.xを経て（IE3.x IE4.x IE5.x）という順番にアップデートを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/search.asp?LangID=13&LangDIR=JA>

ブラウザのコンポーネントが壊れており、修復する必要がある場合

この場合は下記手順によりブラウザの修復を行ってください。修復後は「ウイルススキャンオンライン」の再インストールを行ってください。

1. 「スタート」メニューから、[設定] [コントロールパネル]を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Internet Explorer 5.x」を選択して、追加と削除（Windows2000の場合は変更/削除）をクリックします。
4. ダイアログが現れるので「Internet Explorer を修復する」にチェックを入れてOKボタンをクリックします。
5. マシンを再起動します。
6. 「ウイルススキャンオンライン」を再インストールします。  
もし「Microsoft Internet Explorer 5.x」とインターネットツールが「アプリケーションの追加と削除」内に見つからない場合は、恐れ入りますがお使いのPCのメーカーへお問い合わせください。

## Q3

インストール途中で、「スクリプトエラー」が表示されるのですが

## A3

スクリプトエラーが出る場合、以下の原因が考えられます。

スクリプトエラーは、ブラウザに起因する現象で、ブラウザ自身が正常に動作するための必要なファイルが壊れていたり、変更されている場合に発生しますので、ブラウザをバージョンアップするか、修復する必要があります。（「ウイルススキャンオンライン」に起因するものではありません）

Internet Explorer（以下IE）のバージョンが5.0未満の場合

この場合はブラウザのバージョンを下記URLよりバージョンアップしてください。

なお、バージョンアップ時にIE3.x からIE5.x へアップデートする場合は、直接（IE3.x IE5.x）という形でなく、必ずIE4.xを経て（IE3.x IE4.x IE5.x）という順番にアップデートを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/search.asp?LangID=13&LangDIR=JA>

ブラウザのコンポーネントが壊れており、修復する必要がある場合

この場合は下記手順によりブラウザの修復を行ってください。修復後は「ウイルススキャンオンライン」の再インストールを行ってください。

1. 「スタート」メニューから、[設定] [コントロールパネル]を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Internet Explorer 5.x」を選択して、追加と削除（Windows2000の場合は変更/削除）をクリックします。
4. ダイアログが現れるので「Internet Explorer を修復する」にチェックを入れてOKボタンをクリックします。
5. マシンを再起動します。
6. 「ウイルススキャンオンライン」を再インストールします。

もし「Microsoft Internet Explorer 5.x」とインターネットツールが「アプリケーションの追加と削除」内に見つからない場合は、恐れ入りますがお使いのPCのメーカーへお問い合わせください。

## Q4

インストール途中で、「スクリプト（ランタイム）エラー ライン： 2xx」が表示されるのですが

## A4

以下の操作でエラーが回避されるかをご確認ください。

Windows Me/98/95 の場合

- 1.[スタートメニュー]から[ファイル名を指定して実行]を選択し、[名前]欄に下記を入力します。  
Regsvr32 c:%windows%system%comctl32.ocx
- 2.[OK]をクリックすると下記ダイアログが表示されます。

[DllRegisterServer in c:%windows%system%comctl32.ocx succeeded]

- 3.[OK]を選択して、Windowsを再起動してください。
4. 「ウイルススキャンオンライン」をインストールしてください。

Windows NT / 2000 の場合

- 1.[スタートメニュー]から[ファイル名を指定して実行]を選択し、[名前]欄に下記を入力します。  
Regsvr32 c:%winnt%system32%comctl32.ocx
- 2.[OK]をクリックすると下記ダイアログが表示されます。

[DllRegisterServer in c:%windows%system%comctl32.ocx succeeded]

- 3.[OK]を選択して、Windowsを再起動してください。
4. 「ウイルススキャンオンライン」をインストールしてください。

## Q5

インストール画面が真っ白で何も表示されないのですが

## A5

以下の方法で回避できるか、ご確認いただきたくお願いします。

1. インターネットエクスプローラのセキュリティレベルを変更します。  
「スタート」「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」「セキュリティ」「レベルのカスタマイズ」から「カスタム設定のリセット」メニューで「中」を選択し「リセット」ボタンをクリックします。「警告」画面が表示されますので「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。もし、「中」になっている場合は、「リセット」ボタンをクリックし、「警告」画面が表示されたら「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
2. インターネットエクスプローラの詳細設定項目を変更します。  
「スタート」「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」「詳細設定」ウインドウ内の「ブラウザ」から「オン デマンドでのインストールを行う」にチェックを入れ、「スクリプトエラーごとに通知を表示する」のチェックを外し、「スクリプトのデバッグを使用しない」にチェックをつけて下さい。
3. 上記の設定ができましたら、ウイルススキャンオンラインの再インストールをお願い致します。

## Q6

「アプリケーションの追加と削除」に、「ウイルススキャンオンライン」が無いのですが

## A6

アプリケーションの追加と削除項目には、「ウイルススキャンオンライン」はありません。プログラムメニューから削除して下さい。

「McAfee.com ウイルススキャンオンライン」の削除方法

[スタート] [プログラム] [McAfee.com] [McAfee.com VirusScanOnline] [アンインストール VirusScan Online] をクリックする事で削除できます。

## Q7

アンインストールしようするとエラーが表示されてアンインストールが出来ないのですが

## A7

ウイルススキャンオンラインの上書きインストールを行い、Windowsを再起動の後、ウイルススキャンオンラインがアンインストールできるかをご確認ください。

## 2) ウィルススキャンオンラインのスキャンやアップデートなどのお問い合わせ

## Q1

アップデートしようするとアップデート画面が真っ白で何も表示されません

## A1

「パーソナルファイアウォール」がインストールされている場合アップデートに必要なアプリケーションが「パーソナルファイアウォール」側で「却下」されている可能性があります。アプリケーションを承認することでアップデート可能になります。「mcafee.comHTML」、「mcafee.comUpdate」という表記のものがありましたら、承認して下さい。

また、アップデートの際には、以下の設定を行ってください。

- 1.インターネットエクスプローラのセキュリティレベルを変更します。  
「スタート」「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」「セキュリティ」「レベルのカスタマイズ」から「カスタム設定のリセット」メニューで「中」を選択し「リセット」ボタンをクリックします。「警告」画面が表示されますので「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。もし、「中」になっている場合は、「リセット」ボタンをクリックし、「警告」画面が表示されたら「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
- 2.インターネットエクスプローラの詳細設定項目を変更します。  
「スタート」「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」「詳細設定」ウインドウ内の「ブラウズ」から「オンデマンドでのインストールを行う」にチェックをいれ、「スクリプトエラーごとに通知を表示する」のチェックを外し、「スクリプトのデバッグを使用しない」にチェックをつけて下さい。
- 3.インターネット一時ファイルの削除を行ってください。
- 4.アップデートを実行してください。

## Q2

アップデートしようすると「ページが表示されません」メッセージが表示されます

## A2

「パーソナルファイアウォール」がインストールされている場合アップデートに必要なアプリケーションが「パーソナルファイアウォール」側で「却下」されている可能性があります。アプリケーションを承認することでアップデート可能となります。「mcafee.comHTML」、「mcafee.comUpdate」という表記のものがありましたら、承認して下さい。また、アップデートの際には、前項「アップデートしようするとアップデート画面が真っ白で何も表示されません」の1.~4.の設定を行ってください。

### Q3

DATファイルのバージョンが古いにも関わらず最新DATファイルと認識されてしまいます

### A3

このような場合は、「ウイルススキャンオンライン」を一度アンインストールしていただき再度インストールしていただくようお願いします。

### Q4

最新のDATファイルにアップデートしても、「アップデート」ボタンが何度も出てしまいます

### A4

これはWindowsXPマシンで発生することが確認されています。アップデートは週に一度行っていたら問題ありませんので、「アップデート」ボタンをクリックしアップデートを行った直後に「アップデート」を行う必要はありません。

### Q5

「Scan」でハードディスクをスキャンすると「VSOSN#1」エラーが表示されてしまいます

### A5

以前の「ウイルススキャン」がアンインストールされてない状態で「ウイルススキャンオンライン」をインストールしたために起きている現象と考えられます。現在インストールされてる「ウイルススキャンオンライン」と、以前ご使用の「ウイルススキャン」の両方をアンインストールして、再度「ウイルススキャンオンライン」のインストールを実行して現象が改善されているかご確認ください。

「McAfee.com ウイルススキャンオンライン」の削除方法

[ スタート ] [ プログラム ] [ McAfee.com ] [ McAfee.com VirusScanOnline ] [ アンインストール VirusScan Online ] ウイルススキャンオンラインの削除は、最後にWindowsを再起動してください。

「McAfee ウイルススキャン」の削除方法

本冊子p.2のIの1に記載された「旧バージョンのウイルススキャンを削除します」をご覧ください。

### Q6

「Scan」を実行すると、「win98\_68.cab」ファイルで止まってしまいます

### A6

この現象については原因が確定しておりません。スキャンが止まってしまうファイル名から推測しますと「C:\windows\options\cabs\win98\_68.CAB」は、Windowsのプログラムを圧縮して格納しているファイルになります。この「\*.CAB」ファイルは圧縮率が高く、場合によっては、「圧縮ファイルのスキャン」にチェックを入れた状態でスキャンをかけると、スキャンが止まってしまうことがあります。回避方法としましては、「圧縮ファイルのスキャン」のチェックを外していただく方法をお願いいたします。

【圧縮ファイルのスキャンを外す方法】

- 1.タスクトレイ(画面右下)の「McAfee.comサービス」を右クリックします。
- 2.「VirusScanOnline」 「Scan」を選択します。
- 3.「Scan」画面が表示されます。
- 4.右側の「スキャンの設定」項目の「圧縮ファイルのスキャン」のチェックを外します。

### Q7

「SuperDAT」ファイルを使用することはできますか？

### A7

「ウイルススキャンオンライン」で利用することは出来ません。「SuperDAT」ファイルは、「McAfee ウイルススキャン5.1」や「鉄壁ウイルススキャン」で使用されるファイルになります。

### Q8

アップデートしようとする時「パスワードが間違っています」メッセージが表示されます

### A8

ご覧になられているサイトは、以下のサイトであるか確認してください。

<SuperDATダウンロードサイト> <http://www.sourcenext.com/download/tepeki/sdat.html#>

「McAfee.com ウイルススキャンオンライン」はSuperDATを適用することが出来ません。

ご覧になられているサイトが、日本ネットワークアソシエツ社様のサイトの場合は、会社が異なりますのでアップデートファイルのダウンロード時の認証ができません。

<日本ネットワークアソシエツ社様のSuperDATダウンロードサイト>

[http://www.nai.com/japan/edargpu/ug\\_vsc.asp](http://www.nai.com/japan/edargpu/ug_vsc.asp)

### 3) ウイルススキャンオンラインのウイルス駆除などのお問い合わせQ&A

#### Q1

ウイルスに感染しないためにはどのようにしたらよいのですか

#### A1

常にウイルススキャンオンラインを最新のDATに更新しておく必要があります。また、Internet Explorer のセキュリティホールを狙った悪質なウイルスがいくつか発見されています。マイクロソフト様から、セキュリティーホールの修正プログラムが提供されていますので、ご利用ください。セキュリティホールへの対応を行っていただいた後、メールソフトである「Outlook」や「OutlookExpress」の「プレビューウィンドウ」を表示しないように設定することをお勧めします。

##### 【プレビューウィンドウ設定解除方法】

- 1.OutlookExpressの「表示」メニューから「レイアウト」を選択します。
- 2.「プレビューウィンドウを表示する」項目のチェックを外します。

プレビューウィンドウ表示を利用している場合、自動的に添付ファイルを実行する場合があります。最近のウイルスは、感染させるために自動的に添付ファイルを実行させる悪質なウイルスが存在しております。今後のウイルス対策のために、プレビューウィンドウを表示させないようにされることをお勧めします。

#### Q2

W32/Badtrans@MMというウイルスに感染してしまったのですがどうすればいいのですか

#### A2

このウイルスについては「ウイルススキャンオンライン」のDATファイルを最新しておくことで感染を防ぐことができます。しかし感染してから「ウイルススキャンオンライン」をインストールした場合はすべてのウイルスを削除出来ないことがありますので以下の方法で削除してください。

##### 【Windows Meをご利用の方は必ずお読みください】

Windows Meの機能である「システムの復元」機能によってウイルス感染した状態がバックアップされる場合があります。Windows MeではOS自体やアプリケーションの主要なファイルを自動的にバックアップしています。この機能によってウイルス感染した状態のバックアップが作成されてしまった場合、バックアップファイル内からのウイルス駆除やバックアップファイル自体の削除はできません。そのため、何度もウイルスが発見される状態になってしまいます。ウイルスが感染したファイルを含むバックアップを保持していることは、セキュリティ上望ましいことではないと思われるのでバックアップを一旦削除し、ウイルスを完全に駆除した状態でバックアップを作成しなおすことをお勧めいたします。

##### Windows Meのバックアップ機能の解除

- 1.「コントロールパネル」 「システム」 「パフォーマンス」タブから「ファイルのシステ

ム」を選択します。

- 2.「ファイルシステムのプロパティ」画面から「トラブルシューティング」タブを選択し、「システムを復元しない」のチェックボックスにチェックします。以上でWindows Meのバックアップ機能は解除されました。

以上の方法でバックアップ機能を解除した後、以下のようにウイルスの削除を行って下さい。

##### ウイルス駆除方法

- 1.Windowsをセーフモードで起動してください。(セーフモードの起動方法は、各メーカーにより異なります。)

##### Windows Me/98/95 の場合

Windows起動時のDOS画面(メーカーのロゴ画面が消えた後)で何度か「F8」キーを押すか、端末の電源を入れて[Ctrl]キーを押し続けます。DOS画面で「セットアップメニュー」が表示されますので、「3.Safemode」を選択します。途中でキーボードのタイプを選択する画面が表示された時は「106日本語キーボード」を選択します。

##### Windows 2000 の場合

起動中の「Windows2000の...[F8]キーを押してください」で[F8]を押すと、拡張オプションメニューが表示されます。一覧の中の「セーフモード」を選択するとセーフモードで起動します。

- 2.以下のレジストリキーの“値”を削除してください。

注意:「レジストリ」の操作はパソコンが起動しなくなるなどの大きな危険を伴いますので、慎重に操作をお願いします。また、以下の操作につきましては自己責任のもとで行っていただきますようお願い申し上げます。

- 1.「スタート」 「ファイル名を指定して実行」を選択します。
- 2.「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。
- 3.名前欄に「regedit」(半角)と入力して「OK」を選択します。
- 4.「レジストリエディタ」画面が表示されます。
- 5.以下のレジストリキーの“値”を右クリックして「削除」を選択します。

場所: HKEY\_LOCAL\_MACHINE\Software\Microsoft\Windows\CurrentVersion\RunOnce

値: kernel32 = "kernel32.exe"

- 6.「レジストリ」 「レジストリエディタの終了」を選択して閉じます。

- 3.Windowsを再起動後、Windowsのシステムディレクトリから、以下のファイルを削除してください。

[Kernel32.exe]、[cp\_25389.nls]、[kdll.dll]

ファイルの場所が不明な場合は、検索画面より検索していただければと思います。「スタート」 「検索」 「ファイルやフォルダ」検索しても、検出しない場合は、「4」へお進み下さい。

- 4.ハードディスクをスキャンして、検出したウイルスは削除して下さい。なお、受信したメールでウイルスと思われるものは、削除して下さい。削除済みアイテムも空にして下さい。

- 5.Windowsを再起動してください。

上記の方法で駆除が完了です。正常に駆除されたかを確認の為、Windows再起動後にハードディスクをスキャンしていただき、ウイルスが存在しているかをご確認ください。

## Q3

ウイルスを駆除したら「Restore」にウイルスが残ってしまいました

## A3

WindowsMeの機能である「システムの復元」機能によってウイルス感染した状態がバックアップされる場合があります。WindowsMeではOS自体やアプリケーションの主要なファイルを自動的にバックアップしています。この機能によってウイルス感染した状態のバックアップが作成されてしまった場合、バックアップファイル内からのウイルス駆除やバックアップファイル自体の削除はできません。そのため、何度もウイルスが発見される状態になってしまいます。ウイルスが感染したファイルを含むバックアップを保持していることは、セキュリティ上望ましいことではないと思われるのでバックアップを一旦削除し、ウイルスを完全に駆除した状態でバックアップを作成しなおすことをお勧めいたします。

WindowsMeのバックアップを全て削除する方法

1. 「コントロールパネル」 「システム」 「パフォーマンス」タブから「ファイルのシステム」を選択します。
2. 「ファイルシステムのプロパティ」画面から「トラブルシューティング」タブを選択し、「システムを復元しない」のチェックボックスにチェックします。以上でWindowsMeのバックアップファイルは削除されました。

**以上の方法でバックアップファイルを削除した後以下のようにウイルスの削除を行って下さい。**

ウイルス駆除方法

1. Windowsをセーフモードで起動してください。(セーフモードの起動方法は、各メーカーにより異なりますので、製品備え付けのマニュアルをご参照ください。) Windows起動時のDOS画面(メーカーのロゴ画面が消えた後)で何度か「F8」キーを押すか、端末の電源を入れて[Ctrl]キーを押し続けます。DOS画面で「セットアップメニュー」が表示されますので、「3.Safemode」を選択します。途中でキーボードのタイプを選択する画面が表示された時は「106日本語キーボード」を選択します。
2. ハードディスクをスキャンして、検出したウイルスは削除して下さい。
3. Windowsを再起動してください。

## 4) ウイルススキャンオンラインのその他のお問い合わせ

### Q1

ウイルススキャンオンラインはWindowsXPで動作しますか？

### A1

はい、「McAfee.com ウイルススキャンオンライン」はWindowsXPに対応しております。

### Q2

他のウイルス対策ソフトを使用していますが、ウイルススキャンオンラインと一緒に使うことはできますか？

### A2

他のウイルス対策ソフトとの併用はトラブルの原因になりますので止めていただくようお願いいたします。ウイルススキャンオンラインをインストールする前に必ず他のウイルス対策ソフトをそのマニュアルに従いアンインストールしていただくようお願いいたします。

## 2. 本製品がパーソナルファイアウォールの方

### 1. よくあるご質問（マニュアル未掲載分）

McAfee.com パーソナルファイアウォールのインストールやアンインストールに関するお問い合わせ

#### Q1

インストールしようすると、アクセス拒否メッセージが表示されたのですが

#### A1

このような場合「パーソナルファイアウォール」の再インストールをお願いします。

1. 「スタート」 「プログラム」 「McAfee.com」 「McAfee.com Personal Firewall」 「アンインストール Personal Firewall」をクリックし、アンインストールを実行します。
2. PC再起動後、「C:\Program Files\mcafee.com\VSO」というフォルダを削除します。
3. 「パーソナルファイアウォール」の再インストールを実行します。

この方法でも回避できない場合、インターネットエクスプローラの修復をお願いします。手順は以下のとおりです。

1. 「スタート」メニューから、[設定] [コントロールパネル]を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Internet Explorer 5.x」を選択して、追加と削除（Windows2000の場合は変更/削除）をクリックします。
4. ダイアログが現れるので「Internet Explorer を修復する」にチェックを入れてOKボタンをクリックします。
5. マシンを再起動します。

インターネットエクスプローラの修復が完了しましたら以下のとおりにして下さい。

1. インターネットエクスプローラのセキュリティレベルを変更します。  
「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「インターネットオプション」 「セキュリティ」 「レベルのカスタマイズ」から「カスタム設定のリセット」メニューで「中」を選択し「リセット」ボタンをクリックします。「警告」画面が表示されますので「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。もし、「中」になっている場合は、「リセット」ボ

タンをクリックし、「警告」画面が表示されたら「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

2. インターネットエクスプローラの詳細設定項目を変更します。  
「スタート」 「設定」 「コントロールパネル」 「インターネットオプション」 「詳細設定」 ウィンドウ内の「ブラウズ」から「オンデマンドでのインストールを行う」にチェックを入れ、「スクリプトエラーごとに通知を表示する」のチェックを外し、「スクリプトのデバッグを使用しない」にチェックをつけて下さい。
3. 「全般」から「インターネット一時ファイル」 「ファイルの削除」をクリックします。「ファイルの削除」画面が表示されますので、「すべてのオフラインコンテンツを削除する」にチェックを入れ「はい」をクリックします。

#### Q2

インストールしようすると、「HTMLダイアログ...」メッセージの後、何も表示されません

#### A2

このようなエラーが出る場合、以下の原因が考えられます。

ブラウザに起因する現象で、ブラウザ自身が正常に動作するための必要なファイルが壊れていたり、変更されている場合に発生します。そのため、ブラウザをバージョンアップするか、修復する必要があります。（「パーソナルファイアウォール」に起因するものではありません）

Internet Explorer(以下IE) のバージョンが5.0未満の場合

この場合はIEのバージョンを下記URLよりバージョンアップしてください。

なお、バージョンアップ時にIE3.x からIE5.x へアップデートする場合は、直接（IE3.x IE5.x）という形でなく、必ずIE4.xを経て（IE3.x IE4.x IE5.x）という順番にアップデートを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/search.asp?LangID=13&LangDIR=JA>

ブラウザのコンポーネントが壊れており、修復する必要がある場合

この場合は下記手順によりブラウザの修復を行ってください。修復後は「パーソナルファイアウォール」の再インストールを行ってください。

1. 「スタート」メニューから、[設定] [コントロールパネル]を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Internet Explorer 5.x」を選択して、追加と削除（Windows2000の場合は変更/削除）をクリックします。
4. ダイアログが現れるので「Internet Explorer を修復する」にチェックを入れてOKボタンをクリックします。
5. マシンを再起動します。
6. 「パーソナルファイアウォール」を再インストールします。  
もし「Microsoft Internet Explorer 5.x」とインターネットツールが「アプリケーションの追

加と削除」内に見つからない場合は、恐れ入りますがお使いのPCのメーカーへお問い合わせください。

## Q3

インストール途中で、「スクリプトエラー」が表示されるのですが

## A3

スクリプトエラーが出る場合、以下の原因が考えられます。

スクリプトエラーは、ブラウザに起因する現象で、ブラウザ自身が正常に動作するための必要なファイルが壊れていたり、変更されている場合に発生しますので、ブラウザをバージョンアップするか、修復する必要があります。（「パーソナルファイアウォール」に起因するものではありません）

Internet Explorer（以下IE）のバージョンが5.0未満の場合

この場合はブラウザのバージョンを下記URLよりバージョンアップしてください。

なお、バージョンアップ時にIE3.x からIE5.x へアップデートする場合は、直接（IE3.x IE5.x）という形でなく、必ずIE4.xを経て（IE3.x IE4.x IE5.x）という順番にアップデートを行ってください。

<http://www.microsoft.com/downloads/search.asp?LangID=13&LangDIR=JA>

ブラウザのコンポーネントが壊れており、修復する必要がある場合

この場合は下記手順によりブラウザの修復を行ってください。修復後は「パーソナルファイアウォール」の再インストールを行ってください。

1. 「スタート」メニューから、[設定] [コントロールパネル]を選択します。
2. 「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
3. 「Microsoft Internet Explorer 5.x」を選択して、追加と削除（Windows2000の場合は変更/削除）をクリックします。
4. ダイアログが現れるので「Internet Explorer を修復する」にチェックを入れてOKボタンをクリックします。
5. マシンを再起動します。
6. 「パーソナルファイアウォール」を再インストールします。

もし「Microsoft Internet Explorer 5.x」とインターネットツールが「アプリケーションの追加と削除」内に見つからない場合は、恐れ入りますがお使いのPCのメーカーへお問い合わせください。

## Q4

インストール途中で、「スクリプト（ランタイム）エラー ライン： 2xx」が表示されるのですが

## A4

以下の操作でエラーが回避されるかをご確認ください。

Windows Me/98/95の場合

1. [スタートメニュー]から[ファイル名を指定して実行]を選択し、[名前]欄に下記を入力します。  
Regsvr32 c:%windows%system%comctl32.ocx
2. [OK]をクリックすると下記ダイアログが表示されます。  
[DllRegisterServer in c:%windows%system%comctl32.ocx succeeded]
3. [OK]を選択して、Windowsを再起動してください。
4. 「パーソナルファイアウォール」をインストールしてください。

Windows NT / 2000の場合

1. [スタートメニュー]から[ファイル名を指定して実行]を選択し、[名前]欄に下記を入力します。  
Regsvr32 c:%windnt%system32%comctl32.ocx
2. [OK]をクリックすると下記ダイアログが表示されます。  
[DllRegisterServer in c:%windows%system%comctl32.ocx succeeded]
3. [OK]を選択して、Windowsを再起動してください。
4. 「パーソナルファイアウォール」をインストールしてください。

## Q5

インストール画面が真っ白で何も表示されないのですが

## A5

以下の方法で回避できるか、ご確認いただきたくお願いします。

1. インターネットエクスプローラのセキュリティレベルを変更します。  
「スタート」「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」「セキュリティ」「レベルのカスタマイズ」から「カスタム設定のリセット」メニューで「中」を選択し「リセット」ボタンをクリックします。「警告」画面が表示されますので「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。もし、「中」になっている場合は、「リセット」ボタンをクリックし、「警告」画面が表示されたら「はい」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。
2. インターネットエクスプローラの詳細設定項目を変更します。  
「スタート」「設定」「コントロールパネル」「インターネットオプション」「詳細設定」ウインドウ内の「ブラウズ」から「オンデマンドでのインストールを行う」にチェックを入れ、「スクリプトエラーごとに通知を表示する」のチェックを外し、「スクリプトのデバッグを使用しない」にチェックをつけて下さい。
3. 上記の設定ができましたら、パーソナルファイアウォールの再インストールをお願い致します。

## Q6

「アプリケーションの追加と削除」に、「パーソナルファイアウォール」が無いのですが

## A 6

アプリケーションの追加と削除項目には、「パーソナルファイアウォール」はありません。プログラムメニューから削除して下さい。

「McAfee.com パーソナルファイアウォール」の削除方法

[スタート] [プログラム] [McAfee.com] [McAfee.com PersonalFirewall] [アンインストール PersonalFirewall] をクリックする事で削除できます。

## Q 7

アンインストールしようするとエラーが表示されてアンインストールが出来ないのですが

## A 7

パーソナルファイアウォールの上書きインストールを行い、Windowsを再起動の後、パーソナルファイアウォールがアンインストールできるかをご確認ください。

## Q 8

WindowsXPで「MPF」のドライバをインストールする時に、「Windows ログテストに合格していません」という旨のダイアログがでますが？

## A 8

XPにきちんと対応しているので問題ございません。

## Q 1 1

外部から多くの攻撃を受け続けたら、システムが遅くなりました

## A 1 1

攻撃を止めたログが残っています。それが大きくなりすぎるとシステムを遅くする恐れがあります。

# 3. 本製品がプライバシーサービスの方

## I. 制限事項の確認

Windows Me / 98 / 98SE / 95 では、「凄速」と「McAfee.comプライバシーサービス」を同時に使用することはできません。WindowsXP / 2000では、弊社ホームページより「凄速7」用アップdaterをダウンロードし、「凄速7」をアップデートしたのち、「凄速7」を非稼働にして終了させてから「McAfee.comプライバシーサービス」をインストールする必要があります。

「ウイルスバスター2000、2001、2002」と「McAfee.comプライバシーサービス」を同時に使用することはできません。

## II.Windows XPをご使用の方へ（インストール方法）

ここではWindows XP対応「McAfee.com プライバシーサービス」のインストール方法をご案内いたします。

なお、文中では「McAfee.com プライバシーサービス」を「MPS」と省略しております。ご了承ください。

また、WindowsXP対応「MPS」プログラムは、Webからダウンロードする形となりますので、作業を開始する前に、あらかじめインターネットに接続しておいて頂くようお願い致します。

### Step 1 インストールの準備

ここでは、インストール作業に入る前の準備についてご案内いたします。なお、すでにPCに「MPS」をインストールされている場合は、作業に入る前に、あらかじめ「MPS」をアンインストールしていただきますよう、お願い致します。

1. 「MPS」のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。
2. デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックします。
3. CD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、「開く」を選択します。
4. フォルダの中に「McAppIns.exe」というファイルがあることを確認してください。ファイルが見つかりましたらこれをダブルクリックしてください。下記画面が表示されます。



5. 「はい」ボタンをクリックしてください。

### Step2 インストールの開始

ここでは、インストール作業についてご案内いたします。

Step1の5. で「はい」を選択すると、次の1. の画面が表示されますので、案内に沿って先に進んでください。

- 1.画面内のリンク「インストール McAfee.com Privacy Service for Windows XP」をクリックしてください。



- 2.画面中央の「製品のシリアル番号」欄に、シリアル番号を入力して [OK] をクリックしてください。シリアル番号は、パッケージに同梱されたユーザー登録ハガキに印刷されております。



3.ダウンロードが開始され、下記のような画面が表示されます。



4.ダウンロードが終了すると、下記画面が表示されます。注意事項をよくお読みになり、「インストールの開始」をクリックしてインストールを始めてください。



5.インストールが開始され、下記のような画面が表示されます。



6.インストールが終了すると終了の画面が表示されます。「再起動」ボタンをクリックして、マシンを再起動してください。再起動が完了すると、Windows XP対応「MPS」のインストールは完了です。

### III.よくあるご質問（マニュアル未掲載分）

McAfee.com プライバシーサービスに関するお問い合わせ

Q

Outlook2000を使用して、リッチテキスト形式でメールを送信する際、本文中の2byte文字の情報が全くブロックされません

A

Outlook2000ではリッチテキスト形式のメール送信で本文中の2byte文字の情報をブロックできません。

© 2002 McAfee.com Corporation. All Rights Reserved.

© 2002 Networks Associates Technology, Inc. All Rights Reserved.

ソースネクスト、SOURCENEXTはソースネクスト株式会社の登録商標です。

No part of this publication may be reproduced, transmitted, transcribed, stored in a retrieval system, or translated into any language in any form or by any means without the written permission of McAfee.com or Networks Associates Technology, Inc or its suppliers or affiliate companies

Microsoft、Windowsは米国Microsoft社の登録商標です。

本書に記載されているその他の社名および商品名は、各社の登録商標、または商標です。

**ユーザー登録、ご返品に関するお問い合わせ**

ソースネクスト  
カスタマーインフォメーションセンター **TEL 03-5350-4844**  
受付時間 / 10:00 - 18:00(土、日、祝日、年末年始、ゴールデンウィークを除く)

**製品に関するQ&A(インターネット・ホームページ)**

ソースネクスト  
サポートシステム **www.sourcenext.com/support/qa/all/**  
24時間、365日いつでもご覧になれます(メンテナンス期間など特別な場合を除く)

**製品に関するお問い合わせ**

ソースネクスト  
テクニカルサポートセンター **TEL 03-5388-8250**  
受付時間 / 10:00 - 18:00(土、日、祝日、年末年始、ゴールデンウィークを除く)

ソースネクスト・ホームページ [www.sourcenext.com](http://www.sourcenext.com)

ソースネクスト株式会社  
〒104-0033 東京都中央区新川1-3-3